



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月13日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2138 URL http://crooz.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者CFO (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-5786-7080  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	30,282	18.8	△1,002	-	△972	-	△1,639	-
2018年3月期	25,486	△10.6	725	△65.5	702	△66.9	105	△96.7

(注) 包括利益 2019年3月期 △1,626百万円 (-%) 2018年3月期 100百万円 (△96.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	△143.20	-	△16.2	△4.7	△3.3
2018年3月期	8.78	8.27	0.9	4.3	2.8

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 8百万円 2018年3月期 13百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	24,410	8,660	33.6	738.83
2018年3月期	16,694	12,117	72.2	998.47

(参考) 自己資本 2019年3月期 8,201百万円 2018年3月期 12,060百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	△3,355	△2,555	8,474	12,861
2018年3月期	△175	△1,521	533	10,159

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2019年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	0.00	-	-	-	-	-	-

(注) 2020年3月期の期末配当金は未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

2020年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 9社（社名）CatalyST 1号投資事業有限責任組合、Sevenwoods Investment 1号投資事業有限責任組合、Reo Asset Management 1号投資事業有限責任組合、Blackswan Capital 1号投資事業有限責任組合、Upstart Ventures 1号投資事業有限責任組合（旧：UNICORN Capital 1号投資事業有限責任組合）、Sevenwoods Investment 2号投資事業有限責任組合、Reo Asset Management 2号投資事業有限責任組合、Sean Asset Management Fund I, LP、Blackswan Capital 2号投資事業有限責任組合、除外 1社（社名）株式会社MimiTV

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2019年3月期	12,936,100株	2018年3月期	12,931,100株
2019年3月期	1,834,966株	2018年3月期	852,565株
2019年3月期	11,446,903株	2018年3月期	12,065,437株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	7,164	—	206	—	197	—	△852	—
2018年3月期	21,657	△17.5	760	△57.1	723	△58.7	260	△91.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	△74.49	—
2018年3月期	21.62	20.35

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	21,284	8,816	41.3	792.65
2018年3月期	15,425	11,827	76.6	977.75

(参考) 自己資本 2019年3月期 8,799百万円 2018年3月期 11,809百万円

※当社は、2018年7月1日に持株会社体制へ移行しているため、当期と前期の実績値との間に差異が生じております。なお、適切な前期比較が実施できないため、対前期増減率の記載を省略しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社は「20XX年までに時価総額1兆円以上」という超長期的目標を掲げ、2018年5月10日をもって全ての事業を子会社化し、純粋持株会社となりグループ経営への移行を決定しております。これに伴い、SHOPLIST事業も会社分割し、クルーズ株式会社は事業を持たない投資会社の位置付けでグループ運営の最適化への環境を整えてまいります。また、これらの実現に向け、次世代の事業と経営者の誕生と成長、永遠のベンチャースピードを手に入れるための仕組み「CROOZ永久進化構想」を構築しております。

同時に、将来的に株主・投資家、顧客、社員、社会その他すべてのステークホルダーに大きな価値を還元するべく、当面は「連結のEBITDAゼロへ、営利・当期利益はマイナスにしてでも利益及び現金を総投資して、SHOPLISTの売上最大化、第二・第三の事業の柱早期立ち上げ、M&Aによる売上最大化」を今後の重点戦略として掲げました。

グループの主要事業であるEC事業の国内BtoCのEC（消費者向け電子商取引）市場は2017年に16.5兆円に達しており（注1）、また今後更に拡大し、2021年度には25.6兆円に達する見込みといわれております（注2）。

また、その中でもSHOPLISTのおかれるアパレルEC（BtoC）市場は、2017年に1.6兆円に到達し、直近4年間で約4,820億円拡大してまいりました。この成長規模とスピードは2012年より国内で開始されたフリマアプリ（CtoC）の推定市場規模が5年をかけて到達した4,835億円に匹敵するものであります（注1）。

当該成長市場においてSHOPLISTは、平均商品単価約1,800円という低価格で良質なファストファッション商材の取扱いに特化し、また会員属性もその9割以上が10-20代を中心とした女性という特異なポジショニングを確立し、2012年7月の立ち上げから7年目を迎えた当連結会計年度の売上高は249億円を超え、拡大を継続しております。

当事業においては、今後の更なる拡大を目指し、新規ユーザー獲得を狙った大規模プロモーションはもちろん、探しやすさや購入前と後のギャップをゼロにするべくサイトのユーザビリティ向上、配送日数改善などの物流インフラの強化を通じたリピート率向上に注力してまいります。

以上の結果として、当連結会計年度の経営成績は、売上高30,282,348千円（前連結会計年度比18.8%増）、営業損失1,002,245千円（前連結会計年度は営業利益725,300千円）、経常損失972,314千円（前連結会計年度は経常利益702,542千円）、親会社株主に帰属する当期純損失1,639,200千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益105,941千円）となりました。

（注1）2018年4月25日経済産業省「平成29年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」を基に記載しております。

（注2）株式会社CyberZ及び株式会社シード・プランニングの共同調査情報を基に記載しております。

セグメントごとの経営成績の状況を示すと次のとおりであります。

#### ①SHOPLIST事業

当連結会計年度の売上高は24,966,721千円（前連結会計年度比16.4%増）、セグメント損失は335,755千円（前連結会計年度はセグメント利益866,226千円）となりました。

#### ②インターネットコンテンツ事業

当連結会計年度の売上高は2,211,881千円（前連結会計年度比18.1%減）、セグメント利益は342,602千円（前連結会計年度比34.9%減）となりました。

#### ③その他事業

当連結会計年度の売上高は3,103,745千円（前連結会計年度比133.5%増）、セグメント損失は1,009,092千円（前連結会計年度はセグメント損失667,435千円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度における総資産は、現金及び預金の増加2,701,704千円、営業投資有価証券の増加2,906,681千円、機械装置及び運搬具の増加628,318千円及び投資有価証券の増加653,321千円などにより、24,410,456千円（前連結会計年度比7,716,155千円の増加）となりました。

## (負債)

当連結会計年度における負債は、借入金の増加499,917千円、未払費用の増加282,627千円及び社債の増加10,000,000千円などにより、15,750,390千円（前連結会計年度比11,173,726千円の増加）となりました。

## (純資産)

当連結会計年度における純資産は、親会社株主に帰属する当期純損失1,639,200千円の計上及び自己株式の増加2,153,915千円などにより、8,660,066千円（前連結会計年度比3,457,571千円の減少）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は12,861,417千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,355,360千円の支出（前連結会計年度は175,760千円の支出）となりました。主な増加要因は、減損損失525,526千円、のれん償却額255,670千円の計上及び未払費用の増加280,259千円であり、主な減少要因は、税金等調整前当期純損失1,532,254千円、営業投資有価証券の増加2,601,639千円及び前払費用の増加235,810千円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,555,244千円の支出（前連結会計年度は1,521,815千円の支出）となりました。主な増加要因は、敷金及び保証金の回収による収入35,519千円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出885,900千円、投資有価証券の取得による支出716,407千円、敷金及び保証金の差入による支出273,077千円、事業譲受による支出237,600千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出260,339千円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8,474,890千円の収入（前連結会計年度は533,344千円の収入）となりました。主な増加要因は、短期借入れによる収入1,256,000千円及び社債の発行による収入9,783,659千円であり、主な減少要因は、短期借入金の返済による支出775,741千円及び自己株式の取得による支出2,153,915千円などによるものであります。

## (4) 今後の見通し

SHOPLIST事業の取扱高成長に向けた積極的なプロモーション活動、第二・第三の事業の柱を創出するための新規事業への投資、M&Aなど、グループの売上最大化のために事業資金を投下するため、当面は連結のEBITDAゼロ、営業・当期利益はマイナスにしても利益及び現金を総投資して、結果的に中長期的な企業価値向上の実現に努めてまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示を見合わせます。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準を採用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,159,712	12,861,417
売掛金	2,311,755	2,412,701
営業投資有価証券	35,902	2,942,584
その他	1,140,027	1,140,984
流動資産合計	13,647,397	19,357,686
固定資産		
有形固定資産		
建物	174,133	279,700
減価償却累計額	△36,456	△41,062
建物(純額)	137,677	238,638
機械装置及び運搬具	360,000	1,050,340
減価償却累計額	△64,293	△126,315
機械装置及び運搬具(純額)	295,706	924,024
工具、器具及び備品	298,444	238,330
減価償却累計額	△260,498	△148,892
工具、器具及び備品(純額)	37,945	89,438
有形固定資産合計	471,329	1,252,101
無形固定資産		
ソフトウェア	105,186	53,587
のれん	1,119,071	1,093,159
その他	4,365	8,608
無形固定資産合計	1,228,622	1,155,355
投資その他の資産		
投資有価証券	651,882	1,305,204
関係会社株式	209,723	220,091
繰延税金資産	112,724	319,787
敷金及び保証金	296,802	530,180
その他	164,729	170,328
貸倒引当金	△88,909	△88,909
投資その他の資産合計	1,346,952	2,456,682
固定資産合計	3,046,904	4,864,139
繰延資産		
社債発行費	—	188,630
繰延資産合計	—	188,630
資産合計	16,694,301	24,410,456
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,345,233	2,390,528
短期借入金	660,000	1,140,259
未払金	1,076,819	1,054,669
未払費用	21,384	304,012
未払法人税等	93,484	150,366
ポイント引当金	87,302	141,889
その他	174,940	348,648
流動負債合計	4,459,164	5,530,372
固定負債		
社債	—	10,000,000
長期借入金	117,500	137,158
繰延税金負債	—	82,859
固定負債合計	117,500	10,220,018
負債合計	4,576,664	15,750,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,248	454,553
資本剰余金	1,387,497	1,358,084
利益剰余金	10,700,243	9,043,215
自己株式	△507,483	△2,661,398
株主資本合計	12,033,506	8,194,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,386	3,377
為替換算調整勘定	3,173	4,025
その他の包括利益累計額合計	26,559	7,402
新株予約権	17,772	17,140
非支配株主持分	39,799	441,067
純資産合計	12,117,637	8,660,066
負債純資産合計	16,694,301	24,410,456



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	25,486,401	30,282,348
売上原価	18,436,020	23,483,606
売上総利益	7,050,381	6,798,742
販売費及び一般管理費	6,325,080	7,800,987
営業利益又は営業損失(△)	725,300	△1,002,245
営業外収益		
持分法による投資利益	13,436	8,288
投資事業組合運用益	—	14,530
為替差益	—	24,864
業務受託手数料	2,550	960
その他	6,257	17,994
営業外収益合計	22,243	66,639
営業外費用		
自己株式取得費用	—	9,821
支払和解金	5,187	108
支払利息	1,593	12,050
社債発行費償却	—	11,685
投資事業組合運用損	32,257	—
その他	5,963	3,043
営業外費用合計	45,001	36,708
経常利益又は経常損失(△)	702,542	△972,314
特別利益		
受取和解金	95,273	—
新株予約権戻入益	420	420
その他	228	715
特別利益合計	95,921	1,135
特別損失		
関係会社株式売却損	—	29,731
減損損失	263,253	525,526
固定資産除却損	7,120	746
その他	2,179	5,070
特別損失合計	272,553	561,075
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	525,910	△1,532,254
法人税、住民税及び事業税	399,492	196,601
法人税等調整額	23,095	△121,322
法人税等合計	422,587	75,279
当期純利益又は当期純損失(△)	103,323	△1,607,534
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△2,618	31,666
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	105,941	△1,639,200

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	103,323	△1,607,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,935	△20,008
為替換算調整勘定	△1,363	852
その他の包括利益合計	△3,298	△19,156
包括利益	100,024	△1,626,690
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	102,642	△1,658,357
非支配株主に係る包括利益	△2,618	31,666

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	449,465	1,294,907	10,775,262	△507,483	12,012,151
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	3,783	3,783			7,567
剰余金の配当			△180,960		△180,960
親会社株主に帰属する当期純利益			105,941		105,941
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		88,806			88,806
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	3,783	92,589	△75,018	—	21,354
当期末残高	453,248	1,387,497	10,700,243	△507,483	12,033,506

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	25,321	4,537	29,858	17,755	21,423	12,081,189
当期変動額						
新株の発行 (新株予約権の行使)						7,567
剰余金の配当						△180,960
親会社株主に帰属する当期純利益						105,941
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						88,806
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,935	△1,363	△3,298	16	18,375	15,093
当期変動額合計	△1,935	△1,363	△3,298	16	18,375	36,447
当期末残高	23,386	3,173	26,559	17,772	39,799	12,117,637

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	453,248	1,387,497	10,700,243	△507,483	12,033,506
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	1,304	1,304			2,609
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,639,200		△1,639,200
自己株式の取得				△2,153,915	△2,153,915
連結子会社株式の売却による持分の増減		△30,718			△30,718
連結範囲の変動			△17,826		△17,826
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,304	△29,413	△1,657,027	△2,153,915	△3,839,051
当期末残高	454,553	1,358,084	9,043,215	△2,661,398	8,194,455

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	23,386	3,173	26,559	17,772	39,799	12,117,637
当期変動額						
新株の発行 (新株予約権の行使)						2,609
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△1,639,200
自己株式の取得						△2,153,915
連結子会社株式の売却による持分の増減						△30,718
連結範囲の変動						△17,826
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△20,008	852	△19,156	△631	401,267	381,479
当期変動額合計	△20,008	852	△19,156	△631	401,267	△3,457,571
当期末残高	3,377	4,025	7,402	17,140	441,067	8,660,066

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	525,910	△1,532,254
減価償却費	133,069	134,614
減損損失	263,253	525,526
のれん償却額	263,381	255,670
ポイント引当金の増減額(△は減少)	7,527	54,586
持分法による投資損益(△は益)	△13,436	△8,288
為替差損益(△は益)	5,862	△23,067
投資事業組合運用損益(△は益)	32,257	△14,530
受取和解金	△95,273	—
支払和解金	5,187	108
関係会社株式売却損益(△は益)	—	29,731
固定資産除却損	7,120	746
売上債権の増減額(△は増加)	△675,943	△93,102
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	—	△2,601,639
前払費用の増減額(△は増加)	39,988	△235,810
仕入債務の増減額(△は減少)	623,846	20,177
未払金の増減額(△は減少)	134,621	△68,180
未払費用の増減額(△は減少)	1,670	280,259
その他の資産の増減額(△は増加)	△61,529	△46,602
その他の負債の増減額(△は減少)	△253,264	143,719
その他	△1,890	8,643
小計	942,358	△3,169,692
利息の受取額	195	223
利息の支払額	△802	△10,814
和解金の受取額	30,000	—
和解金の支払額	△5,187	△108
法人税等の支払額	△1,142,324	△174,969
営業活動によるキャッシュ・フロー	△175,760	△3,355,360

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△395,510	△885,900
無形固定資産の取得による支出	△26,080	△19,207
投資事業組合からの分配による収入	9,777	68,559
投資有価証券の取得による支出	△210,624	△716,407
子会社株式の取得による支出	—	△105,000
貸付けによる支出	△350,856	△138,084
敷金及び保証金の差入による支出	△128,246	△273,077
敷金及び保証金の回収による収入	111,065	35,519
事業譲受による支出	—	△237,600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△344,711	△260,339
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△18,088
その他	△186,629	△5,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,521,815	△2,555,244
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	703,322	1,256,000
短期借入金の返済による支出	△43,322	△775,741
長期借入れによる収入	150,000	3,032
長期借入金の返済による支出	△213,887	△32,485
社債の発行による収入	—	9,783,659
自己株式の取得による支出	—	△2,153,915
新株予約権の行使による新株発行による収入	7,264	2,505
非支配株主からの払込みによる収入	109,800	392,035
配当金の支払額	△180,572	△199
その他	739	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	533,344	8,474,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,489	4,032
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,169,720	2,568,317
現金及び現金同等物の期首残高	11,329,433	10,159,712
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	133,386
現金及び現金同等物の期末残高	10,159,712	12,861,417

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、経営陣が経営資源の配分、投資計画の決定及び経営成績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループでは、「SHOPLIST事業」、「インターネットコンテンツ事業」の2つを報告セグメントとしております。

「SHOPLIST事業」は、主にインターネットを利用した通販サービスを提供しております。「インターネットコンテンツ事業」は、主にスマートフォン等の携帯端末を利用したソーシャルゲームやそれに付随した受託開発等を提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	連結財務諸 表計上額
	SHOPLIST事 業	インターネ ットコンテ ンツ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,455,260	2,701,934	24,157,195	1,329,206	25,486,401	—	25,486,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,883	—	2,883	44,758	47,642	△47,642	—
計	21,458,144	2,701,934	24,160,079	1,373,965	25,534,044	△47,642	25,486,401
セグメント利益又は損失 (△)	866,226	526,508	1,392,735	△667,435	725,300	—	725,300
その他の項目							
減価償却費	94,773	15,542	110,315	22,753	133,069	—	133,069
のれんの償却額	—	13,499	13,499	249,882	263,381	—	263,381

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として株式会社Candle及びCROOZ TRAVELIST株式会社が営む事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 資産についてのセグメント情報は、経営者が経営の意思決定上当該情報を各セグメントに配分していないことから開示しておりません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	連結財務諸 表計上額
	SHOPLIST事 業	インターネ ットコンテ ンツ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,966,721	2,211,881	27,178,603	3,103,745	30,282,348	—	30,282,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,780	44,301	48,081	835,603	883,684	△883,684	—
計	24,970,501	2,256,183	27,226,683	3,939,348	31,166,033	△883,684	30,282,348
セグメント利益又は損 失(△)	△335,755	342,602	6,846	△1,009,092	△1,002,245	—	△1,002,245
その他の項目							
減価償却費	85,344	4,874	90,218	44,396	134,614	—	134,614
のれんの償却額	—	13,499	13,499	242,171	255,670	—	255,670

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として株式会社Candle及びCROOZ TRAVELIST株式会社が営む事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 資産についてのセグメント情報は、経営者が経営の意思決定上当該情報を各セグメントに配分していないことから開示しておりません。



【関連情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	全社(共通) (注) 2	合計
	SHOPLIST事業	インターネット コンテンツ 事業	計			
減損損失	—	—	—	216,418	46,834	263,253

(注) 1 「その他」の金額は、のれんに係る減損損失であります。

2 「全社(共通)」の金額は、本社オフィスの一部エリアの解約を決定したことによるものであります。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	全社(共通)	合計
	SHOPLIST事業	インターネット コンテンツ 事業	計			
減損損失	5,725	—	5,725	519,801	—	525,526

(注) 「その他」の金額は、のれんに係る減損損失であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	全社(共通)	合計
	SHOPLIST事業	インターネット コンテンツ 事業	計			
当期末残高	—	40,497	40,497	1,078,573	—	1,119,071

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	全社(共通)	合計
	SHOPLIST事業	インターネット コンテンツ 事業	計			
当期末残高	—	26,998	26,998	1,066,160	—	1,093,159

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	998.47円	738.83円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	8.78円	△143.20円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	8.27円	－円

(注) 1 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	105,941	△1,639,200
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	105,941	△1,639,200
普通株式の期中平均株式数 (株)	12,065,437	11,446,903
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数 (株)	752,503	－
(うち新株予約権) (株)	(752,503)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	－	－

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。